

単元構想シート

Y 中学校 第 2 学年 国語 科 単元名 「 短歌を創作しよう！ 」

全 3 時間

単元目標 (育成したい資質・能力)	(知識及び技能)○話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。(1)イ (思考力、判断力、表現力等)◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。B(1)ウ (学びに向かう力、人間性等)○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

言語活動	読み手に「おっ！」と思わせる短歌を創ろう！ ～情景や感動を伝えよう～ ・短歌を作る際に、草案を交流し、アドバイスをし合う。 ・作った短歌を鑑賞し、それぞれのよさを味わう。 ・自分の短歌のアピールポイントを紹介する文を書く。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	○「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>事前学習</p> <p>①指導者が短歌に関連する図書を紹介し、お手本となる短歌に触れて想像力を養う。 □生徒の目に留まるように、教室前の長机に図書資料を設置し、創作への意欲を高められるようにする。</p> <p>第一次[第1時]</p> <p>①オリジナルの短歌を作るというゴールを確認し、前段階として既存の短歌の穴埋めクイズに取り組む。 □現代短歌など、生徒が親しみもちやすい短歌を選ぶことで、短歌創作の負担感を減らす。 ②句切れや体言止めなど、短歌の表現技法について確認し、よい短歌を作るポイントを考え、評価の視点を見いだす。 ③「思考の設計図」を使って、創作のための素材集めをする。[発見・蓄積] ④「思考の設計図」を使って、集めた素材を整理する。[分析・整理] □よい短歌のポイント(評価の視点)や短歌の基本を確認することで、生徒と評価の視点を共有したり、よりよい短歌を作ろうとする意欲を高めたりできるようにする。 □「思考の設計図」を使って、自分の思考の足跡が確認できるようにする。</p> <p>第二次[第2時]</p> <p>⑤「思考の設計図」を使って、考えた言葉を整理し、表現を変えたり、組み合わせたりしながら短歌の草案を作る。 ⑥ペアになって交流し、もっとよい表現はないか、どうすれば読み手に情景を伝えられるかアドバイスをし合う。 ⑦アドバイスを基に、自分の草案を修正する。[再構築] □「思考の設計図」を用いて自分の考えを整理したり、もらったアドバイスをメモしたりする。 ⑧短歌に込めた思い、工夫したところを文章化する。 □よりよい短歌になるように、自分はどのようなどころを工夫したのか、アピール文を書く。</p> <p>第三次[第3時]</p> <p>⑨全員の短歌を鑑賞し、それぞれの短歌のよさを味わう。(○組集会をする。) □なぜよいと思ったかという理由を踏まえて、よいと思った一首を選ぶ。 □それぞれの短歌のよいところを認め、自分の短歌と比較して自分の考えを深めるようにする。</p>	<p>・よりよい短歌を作るために、様々な短歌のよさに触れる。短歌を読んで、「よい短歌のポイント」を見つける。</p> <p>・第二次で、友達とアドバイスをし合うことで、自分の考えを再構築し、よりよい短歌づくりに生かす。</p> <p>◇評価の視点</p> <p>・情景がより伝わるような言葉を選ぶことができている。 ・表現の効果を考えて、読み手に情景が伝わる短歌を作ることができている。</p>	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <p>・様々な短歌を読んで、「よい短歌のポイント」を見つける。 ・使いたい言葉、よい短歌になりそうな言葉を素材として集める。</p> <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <p>・自分が集めた素材から、よりよい短歌になりそうな言葉を選択する。</p> <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <p>・自分の思いや、描いた情景が読み手に効果的に伝わるような短歌を作ろうとしている。</p>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <p>・「よい短歌のポイント」を交流する。</p> <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <p>・「よい短歌のポイント」を基に、交流し、足りないものを補ったり、語順や組み合わせ方を考えたりする。</p> <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたたり、創造したりする</p> <p>・全員の短歌を鑑賞し、自分の短歌と比較することで自分の考えを深めている。</p>